

令和7年度 部の運営方針書

消防本部

1 部の運営方針

【部の使命】

消防本部は、その施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者への対応を適切に行うことにより、周南市の安全安心を確保します。

【部の目標】

①消防通信指令業務の共同運用に向けた事業を推進し、近隣消防本部との連携協力体制の強化を図ります。

②救急救命士を含む救急隊員の病院実習について、医師同乗システム・救急ワークステーション（以下「救急WS」という。）方式を導入することで、生涯教育体制の充実強化を図るとともに、救急救命士の処置拡大及びマイナ救急を活用した実証事業へ参加することで救急業務の高度化に取組みます。

③本市の将来の消防体制を見据えた消防力の最適化を推進するため、消防力調査業務委託を実施して、科学的知見に基づいた消防庁舎の位置・規模、消防車両及び人員の再配置について検討いたします。また、消防団機庫の統合や地域防災力の集中と強化に取り組めます。

④周南公立大学及び徳山工業高等専門学校との三者連携による学生消防団員制度の拡充など、消防団員の確保と消防団活動の活性化を推進します。

⑤多くの人が集まる防火対象物への予防査察を推進するとともに、危険物施設の保安管理を徹底することで、予防体制の強化を図ります。

【行政経営への取組み】

DXツールを活用して申請事務の電子化を積極的に推進し、各種業務の効率化を目指します。

2 部の経営資源

(1) 部の体制

職員数	208 人	うち	正職員	208 人	・	会計年度 任用職員	0 人	人件費	正職員	1,512,160 千円	会計年度 任用職員	0 千円
-----	-------	----	-----	-------	---	--------------	-----	-----	-----	--------------	--------------	------

※R5職員平均給与（ 7,270 千円）ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	1,631,376 千円	歳出予算額	2,216,399 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算小事業数	20 事業	担当課数	9 課
-------	--------------	-------	--------------	-------------	----------	-------	------	-----

3 部の中期目標（優先順） 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	5 防災・安全 2 消防・救急体制の充実 1 消防力の充実 （消防総務課、警防課、指令課、各署所）	○消防団馬島機庫の整備と、将来に向け消防庁舎や消防車両等の最適化に取り組みます。 ○三者連携による学生消防団員制度の拡充と、消防団員の確保及び消防団活動の活性化を推進します。 ○消防指令業務の共同運用に向けて、通信指令員の服務や勤務体制を整備するとともに、通信指令事務協議会の円滑な運営を行います。
2	5 防災・安全 2 消防・救急体制の充実 2 救急救助業務の充実 （警防課、各署所）	○病院実習（救急WS）での救急救命士を含む救急隊員の生涯教育と、救急救命士の処置拡大及びマイナ保険証を活用した実証事業に参加し、救急業務の高度化を推進します。 ○消防用ドローンの操縦者を養成し、安全な運用体制を構築することで、救助業務の高度化を図ります。 ○救助工作車の更新により救助資機材取扱いと救助技術向上及び人材育成に努めます。
3	5 防災・安全 2 消防・救急体制の充実 3 予防体制の強化 （予防課、危険物保安課、各署所）	○高齢者やその関係者が、自ら住宅における防火対策を行えるよう、防火指導等を通じて必要な情報の提供を推進します。 ○危険物施設の適正な維持管理やコンプライアンス全般について、適切な指導を行います。 ○火災予防行政に関する届出・申請等のDX化を推進します。